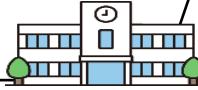


令和7年度 京都市立柊野小学校グランドデザイン

めざす学校像

- ・子どもが通いたい
- ・保護者が通わせたい
- ・子どもの居場所があり、よさが發揮できる
- ・子どもが紡ぐ文化で持続発展する



★ **〈教育理念〉** 人間力と豊かな人間性を育む
自立 自律 -15からの力のために-



学校教育目標



ともに学び ともに育つ

大切にしたい3つのキーワード「当たり前のことの当たり前前に、背伸び、感謝」



めざす子ども像

じぶんから学ぶ子

じぶんもみんなも大切にする子

じょうぶな心と体をもつ子

育成したい資質・能力 人間関係形成力 (受容力・コミュニケーション力・協働する力)



学校経営方針

主体的な学校づくり -機能する教育活動-



「確かな学力」の育成

- ・授業改善、集団の育成
- ・幼保小中連携
- ・支援と整備
- ・英語教育の充実

「豊かな心」の育成

- ・充実した特別活動
- ・考え、議論する道徳科授業の推進
- ・一人一人が輝く生徒指導
- ・思いやりの心の育成
- ・総合育成支援教育の充実

「健やかな体」の育成

- ・体力向上
- ・健康の保持増進
- ・安全に対する意識の高揚
- ・食育の推進



具体的な重点取組



授業改善・集団の育成

- ・「問い合わせ」を大切にした主体的な学びを引き出す授業改善
- ・即時評価と「わかる」「できる」を実感できる授業
- ・「全国学力・学習状況調査」等結果分析を授業に生かす
- ・校内研修の充実
- ・個別最適な学びの実現（学習マネジメント力を育てる）
- ・「共感的な人間関係」を位置づけた授業実践
- ・ICTの適切な活用と協働的な学びの実現
- ・学校図書館の活用と読書活動の充実
- ・自己実現を目指す生き方探究教育の充実
- ・異学年交流の充実

幼保小中連携

- ・研修・会議を活用した小中連携
- ・架け橋プログラムを意識した幼保小の接続

支援と整備

- ・個別支援の計画と学習の充実
- ・通級教室（LD等・ことばときこえ）との連携
- ・教室・授業のUD化を実践し、定期的に確認する。

英語教育の充実

- ・デジタル教科書の有効活用
- ・必然性のある言語活動
- ・評価のあり方の研究

充実した特別活動

- ・たてわり活動の充実を囲り自己有用感を高める。
- ・子どもが紡ぐ学校文化、児童の主体的な学校づくりへの支援
- ・積極的な異学年交流
- ・「やってみたい」が言える環境づくりとその内容の実現
- ・子ども自身が考える委員会活動

考え方、議論する道徳科の授業

- ・教材を通して「なぜ」「どうして」と考える授業の構築
- ・他教科、学校行事との関連を意識したカリマネ

一人一人が輝く生徒指導

- ・「自ら考え、正しい行動をする力、周りのことを考えて行動する力」を育むため、生徒指導実践上の4つの視点を大切にする。
- ・いじめや不登校の未然防止、問題行動の早期発見、対応
- ・教育相談部と一体となったチーム支援

思いやりの心の育成

- ・多様性を理解し、認め合えるような人権教育の実施（にここにデー・にここに目標）
- ・情報モラルの正しい理解と学習指導の実施

総合育成支援教育の充実

- ・個別の指導計画の活用
- ・ユニバーサルデザイン化に向けた研修の実施
- ・家庭、地域、関係機関との連携
- ・教育相談部と一体となったチーム支援

体力向上

- ・体育学習の充実
- ・運動に親しめる環境づくりと機会の設定
- ・運動の大切さを学ぶ保健指導
- ・学年に応じた給食喫食での体づくり

健康の保持増進

- ・健康に対する知識の習得、自己管理能力の育成
- ・バランスの良い朝食の奨励
- ・好き嫌いや偏食をなくす健康な体づくり

安全に対する意識の高揚

- ・主体的に自他の安全を守ろうとする姿勢を育てる安全教育の充実
- ・自然災害等への理解を深め、緊急時に自分の命を守る行動がとれるようになる研修・訓練の実施
- ・危険箇所にできるだけ早く気づき、ケガ等を未然に防ぐ点検体制の構築と迅速な修繕
- ・食の安全性について知り、健康に成長するための自己管理能力を身につける
- ・給食での誤食・誤飲に対する指導・配慮

食育の推進

- ・食に関する指導の充実
- ・望ましい食生活の理解と実践、習慣化
- ・他教科と関連させながら、和食文化の継承と地産地消の推進

地域に根ざした教育活動を展開し、地域とともに歩む学校

- ・地域の人材活用や人材発掘
- ・子どもの体験的な活動の充実

協働的な連携